

# 研究名：重症呼吸器感染症で PICU 入室となる患者群におけるライノウイルス・エンテロウイルス陽性の頻度とその臨床的特徴

## 1．研究の目的

小児、特に乳幼児期の細気管支炎の原因ウイルスとして RS ウイルスや、ヒトメタニューモウイルス等が知られています。これらは小児における重症呼吸器感染症の原因ウイルスとして ICU 入室患者で検出されてきました。2020 年 1 月から新型コロナウイルスの流行に伴い、当院の PICU に入室する呼吸器症状を持つ患者に対してスクリーニングとして FilmArray を実施しており、特に細気管支炎の病像をきたす患者からライノウイルス・エンテロウイルスが検出されることを多く経験し、その臨床的特徴を明らかにするために研究を計画しました。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2018 年 1 月から 2023 年 3 月までに呼吸障害で ICU に入室した 15 歳以下の患者さん。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 8 月 31 日まで

研究方法：当院のカルテを用いて後方視的に研究を行います。既往歴、身体所見、治療内容、ICU の入室期間、血液検査結果、細菌ウイルス学検査（FilmArray 結果含む）、胸部 X 線検査結果などについての情報を収集し、ライノウイルス・エンテロウイルスの臨床的特徴を調査します。

## 3．研究に用いる情報の種類

氏名、患者 ID、既往歴、身体所見、治療内容、ICU の入室期間、血液検査結果、細菌ウイルス学検査（FilmArray 結果含む）、胸部 X 線検査結果 等

~~——患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。~~

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

## 6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年11月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 集中治療科 諸田 潤一郎

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7948）

E-mail: [morota-j@ncchd.go.jp](mailto:morota-j@ncchd.go.jp)

研究責任者：

国立成育医療研究センター 集中治療科 諸田 潤一郎